

# 「日本年金機構における不正アクセスによる情報流出事案検証委員会」 検証報告書に関する会長声明

平成27年8月24日  
全国社会保険労務士会連合会  
会長 大西 健造  
(社労士制度推進戦略室)

8月21日に「日本年金機構における不正アクセスによる情報流出事案検証委員会」で取りまとめられ、公表された検証報告書を踏まえ、以下のとおり声明を  
発表します。

検証報告書においては、情報流出の原因として、日本年金機構におけるサイバー攻撃に対する人的・組織的な準備の不足、また厚生労働省における情報セキュリティ体制の脆弱性等が指摘されている。

当連合会としては、厚生労働省及び日本年金機構において、同報告書の提言に基づく対応が図られ、再発が防止されるよう強く望むところである。

公的年金は国民にとって極めて重要であり、今回の情報流出事案によって国民は強い不安を感じている。

当連合会は、国民の不安解消と権利擁護に向けて、受給権者及び被保険者等からの相談に対応するなど、公的年金に関する唯一の国家資格者である社会保険労務士による全面的な支援を行うことを表明する。